



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社SQUEEZE 上場取引所 東
 コード番号 558A URL <https://squeeze-inc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 館林 真一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 安養寺 鉄彦 (TEL) 03(6455)4721
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期第1四半期	1,680	—	206	—	232	—	196	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 196百万円(—％) 2025年12月期第1四半期 —百万円(—％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	64.59	—
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2025年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、2026年1月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

3. 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2026年12月期第1四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期第1四半期	4,525	1,683	37.2
2025年12月期	4,302	1,480	34.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,682百万円 2025年12月期 1,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	7,034	31.0	705	37.9	700	32.9	513	△16.7	166.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2026年1月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っています。2026年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。
3. 1株当たり当期純利益は、公募株式数（50,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算定していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社（社名） 司貴吉智慧旅宿股份有限公司、株式会社SQUEEZE Next Partners
除外 1社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年12月期1Q	3,045,800株	2025年12月期	3,045,800株
2026年12月期1Q	1株	2025年12月期	1株
2026年12月期1Q	3,045,800株	2025年12月期1Q	1株

- (注) 1. 当社は、2025年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。
2. 当社は、2026年1月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。詳細については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、本決算短信とあわせて、第1四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。ただし、当社グループの業績推移をご理解いただくためのご参考として、前連結会計年度の四半期業績の概要を決算補足説明資料に記載しておりますのでご参照ください。

当第1四半期連結累計期間においては、グローバルな観光需要の着実な成長や賃上げなどの雇用・所得環境の改善により、緩やかな成長基調となりました。一方、米国の外交政策に関する不確実性や海外情勢の不安定化、インフレによる先行きの不透明さは継続しております。当社グループのメイン事業であるホテル業界においては、円安を背景としたインバウンド需要の拡大が継続しております。日本政府観光局の訪日外客統計によると、訪日外国人数は2025年通年で42百万人（前年比15.8%増）、2026年1月から3月までの期間においても10百万人に達し、引き続き強い需要を維持しております。

このような事業環境の中、当社グループは、ホテルの価値や生産性、ゲスト体験向上のため、自社で開発するクラウド宿泊運営システム「suitebook」の機能改善を継続的に行ってまいります。また、前連結会計年度に引き続き、運営施設数の拡大を推し進めました。当第1四半期連結累計期間においては、リアルゲイト社との提携による4施設のうち最初の施設である「SHIFT HOTEL SHIBUYA HATAGAYA」をオープンし、フル支援での施設数は、前連結会計年度末より1施設増の41施設となりました。また、テクノロジー支援として、霞ヶ関キャピタル株式会社およびその連結子会社であるfav hospitality group株式会社が展開する20施設に「suitebook」の導入を行いました。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,680,677千円、営業利益206,060千円、経常利益232,328千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は196,742千円となりました。

なお、当社グループは、スマートホテル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ223,247千円増加し、4,525,341千円となりました。これは主に現金及び預金が244,565千円増加した一方で、売掛金が41,525千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ19,808千円増加し、2,841,654千円となりました。これは主に未払法人税等が29,901千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ203,439千円増加し、1,683,687千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益196,742千円の計上により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想については、2026年4月22日付で公表しました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の内容から変更はありません。

なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,586,953	2,831,519
売掛金	456,341	414,816
契約資産	4,805	—
未収入金	561,517	566,398
商品	12,501	225
仕掛品	6,483	1,739
その他	75,185	105,017
貸倒引当金	△31	△49
流動資産合計	3,703,757	3,919,667
固定資産		
有形固定資産	26,410	32,105
投資その他の資産	571,926	573,567
固定資産合計	598,336	605,673
資産合計	4,302,093	4,525,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,744	10,974
1年内返済予定の長期借入金	260,986	269,916
未払金	883,597	823,971
未払法人税等	7,383	37,284
その他	416,456	544,870
流動負債合計	1,596,167	1,687,016
固定負債		
長期借入金	1,224,067	1,153,018
資産除去債務	1,611	1,619
固定負債合計	1,225,678	1,154,637
負債合計	2,821,846	2,841,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	368,426	374,866
利益剰余金	1,010,948	1,207,143
株主資本合計	1,479,374	1,682,009
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	464	510
その他の包括利益累計額合計	464	510
新株予約権	408	408
非支配株主持分	—	757
純資産合計	1,480,247	1,683,687
負債純資産合計	4,302,093	4,525,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,680,677
売上原価	863,965
売上総利益	816,712
販売費及び一般管理費	610,651
営業利益	206,060
営業外収益	
受取利息	10,696
持分法による投資利益	355
為替差益	19,545
その他	1,398
営業外収益合計	31,997
営業外費用	
支払利息	5,620
その他	108
営業外費用合計	5,728
経常利益	232,328
税金等調整前四半期純利益	232,328
法人税等	35,388
四半期純利益	196,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,742

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	196,939
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	46
その他の包括利益合計	46
四半期包括利益	196,986
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	196,788
非支配株主に係る四半期包括利益	197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、スマートホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、司貴吉智慧旅宿股份有限公司、株式会社SQUEEZE Next Partnersを新たに設立したため、両社を連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間
（自 2026年1月1日
至 2026年3月31日）

減価償却費	1,066千円
-------	---------

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2026年3月24日及び2026年4月6日開催の取締役会において、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募による新株式の発行を決議し、2026年4月14日に発行価格及び引受価額を決定し、2026年4月21日に払込みが完了いたしました。

なお、当社株式は2026年4月22日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。

(1) 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 50,000株
(3) 発行価格	1株につき3,110円（注）1
(4) 引受価額	1株につき2,861.20円（注）2
(5) 資本組入額	1株につき1,430.60円
(6) 発行価格の総額	155,500,000円
(7) 払込金額の総額	143,060,000円
(8) 資本組入額の総額	71,530,000円
(9) 払込期日	2026年4月21日
(10) 資金の使途	借入金の返済に充当する予定であります。

(注) 1. 一般募集はこの価格にて行いました。

2. この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2026年3月24日及び2026年4月6日の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、株式会社SBI証券を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を決議しており、2026年5月25日に払込が完了する予定であります。

(1) 募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 150,100株
(3) 割当価格	1株につき2,861.20円
(4) 払込金額	1株につき2,473.50円（注）
(5) 資本組入額	1株につき1,430.60円
(6) 割当価格の総額	429,466,120円
(7) 資本組入額の総額	214,733,060円
(8) 払込期日	2026年5月25日
(9) 割当先	株式会社SBI証券
(10) 資金の使途	公募による新株式の発行による調達資金と合わせて、借入金の返済に充当する予定であります。

(注) この金額は会社法上の払込金額であり、2026年4月6日開催の取締役会において決定された金額であります。